

# 特集「人権・多様性社会」について考える その5

へいだい

## 平大認知カフェ(みゆきよりみちかふえ)

2016年に御幸町の住民団体と介護事業所や福山平成大学が協力して「平大認知症カフェ連絡協議会」を結成し、隔月で認知症カフェを実施しています。愛称の「みゆきよりみちかふえ」は御幸小学校の児童が考えました。

認知症の当事者や専門家を招いた勉強会などを通して住民や学生たちが認知症への理解を深めたり、悩みを共有したりする場となっています。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた期間はありますが、開催方法をオンラインに変更して、コロナ禍においても取組を続けてきました。

オンライン開催に当たっては、事前にスマートフォン講習会でビデオ会議システム「Zoom」の使い方を伝えました。機器の操作が困難な参加者もいるため、交流館や地域の集会所をサテライト



サテライト会場の交流館

会場として用意しています。

## 家にいながら人とつながる

家から外に出ることが難しく、これまでは認知症カフェに参加することができなかった人でも、オンライン開催によって様々な人と交流することができるようになりました。

## 「人権・多様性社会」を考える機会に

「東部いれこみ情報」では、「人権・多様性社会」について特集記事を連載します。考え合う機会としてお読みいただけましたら幸いです。